



消防署実習を終えて

昨年引き続き、今年も消防署にて救急車の同乗車実習をさせていただく機会をいただき、当院お隣の谷中分署でお世話になることになりました。

救急車の出動要請の一報が入ると消防署内全体に要請のコールが鳴り響き、皆さん出際よく、事前の役割分担のもと各々準備を行い救急車に乗り込みます。私は毎回このタイミングで、日頃の訓練と仕事の手際よさを実感させられ、感心するのです。今回は現地に到着後患者さんを車内に収容したのち、容態が落ち着いていたことおよびご本人自身のご希望により、不搬送となりました。

結果的には一件の救急要請のみで、落ち着いた平和な越谷市を体感することになったわけですが、常に待機している時間であることを想像するとなかなかゆっくり過ごすこともできないものでした。当たり前ですが待機中はお茶を飲んで過ごすのではなく、消防車、救急車の点検や訓練に励むのです。そこで私もこの度は訓練にも参加させていただきました。

我らが谷中分署には、越谷市内には1台しかない40m以上の長いはしご車があります！はたして越谷市に必要なのか…？とも思いましたが、隊員の方にそんな疑問をぶつてみると、実際の消火活動ではなかなか現場に近づくことができないシーンも想定され、遠方からの消火活動が必要となり出動することもあるようです。なるほどおと納得しつつ、出動しないにこしたことはないなと理解しました。そんなはしご車を前に説明を受けていると、こちらのテンションも徐々にあがってきます。目の前には男子あこがれのあのはしご車。「私も乗せてもらえるものでしょうか？」…今回は特別に乗せていただけるとのこと！

外科

宮田 大士



乗り込むゴンドラは1/3畳ほどの少し頼りない第一印象を持つ「箱」です。安全ベルトをし、ヘルメットをかぶり、その「箱」にフックをかけてこの身をゆだねます。そこから、想像していたよりも速い速度でぐんぐん上昇します。はしご車はゴンドラ内と地上の隊員との、息のあったコンビネーションで緻密な操作が行われていました。一度上昇が止まり、そして40mとっていた時点からさらに天をめざすではありませんか！風にあおられながら再び停止したところで、ようやく「40mです」という地上班からの無線の声。地上40mの高さはいま思い出しても手に汗握る光景でした。詳しくは思い出せないのでありますが、足がすくんで立てなかったのは覚えています。

もちろん景色を楽しむものではなく、人命救助を行う車です。怖いとか早いとか言ってもらえないのでしょうか。隊員の方からは、もっと早くても良いとの談が聞かれました。まさにプロフェッショナルですね！あの高さで作業を行い、さらに救助となれば叫ぶ一般人を乗せて安全まで確保するので、選ばれた人間がその上で日頃の訓練を行って、初めてなせる所業なのだ痛感いたしました。

今回の実習では救急隊員の方の現場経験だけでなく、消防隊員の存在のありがたさを知ることができました。隊員の方々の訓練の賜物の成果を病院現場でも引き継いでいきたいと決意を新たにすると実習となりました。



病院理念

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。

ふれあい 看護体験



今年の夏は暑かった！ことを忘れてしまうくらいすっかり秋の装いで
すね。

記憶を巻き戻して、夏休み学生たちのふれあい看護体験のご報告で
す。7/24(水)地元、越谷の高校生から東京の大学生まで11人の若
者達が来てくれました。その中で、6病棟(療養型病棟)では3人の看
護師を夢見る若人が看護体験をしました。

まずは、患者さんの気持ちを体験しようということで、「車椅子乗車体
験」をしました。障害物があることや片麻痺で車椅子を操作することの
難しさを知ることができました。次に血圧脈拍測定を体験し、初めて自
分の血圧の値を知りました。お昼は、患者さんの食事介助、午後は足
浴を実施しました。「気持ちいいねえ」と目を細めて喜んでくれる94歳
の患者さんの足をさする学生さんと、ほのぼのとした時間を過ごすこ
とができました。

この日の経験が、学生達の夏の思い出だけでなく、将来の職業選択
の一助として記憶に残ってくると少し嬉しいなあ～と思いながらの一
日でした。

6病棟 橋本 由美子

リフレッシュ研修



先日、新人リフレッシュ研修が行われ、新人さん
13名とお目付け役(?)6名で軽井沢に一泊してきました。

一日目の夜はバーベキュー！

メニュー決めから買い出し・調理まで、新人さんが見事なチームワークでテキパ
キと準備。美味しい肉や野菜とお酒に、みんなで舌鼓を打ちました。食後のカラ
オケでは事務長と看護部長が美声を披露し、ほろ酔いの新人さんと一緒に盛り
上がり、楽しい夜となりました。

はしゃぎ過ぎて翌朝はほんのリテンションダウン……でしたが、アウトレットのお
土産タイムで復活！！ 秘境『鬼の押し出し』と軽井沢銀座にも足を運び、帰りの
バスは心地よい疲れでみんなグッスリ。心身ともにリフレッシュできた楽しい二日
間でした。

参加された皆様、本当にお疲れ様でした！



☆お目付け役☆
言語聴覚士
桑原 充保



4月に入職したピカピカの新人
達も、早6ヶ月が経ちました。
そろそろ皆様のお役に立てるよ
うになっているでしょうか？リフ
レッシュし、また新たな気持ちで
頑張りますので、どうぞ温かい
目で見守ってくださるようお願い
いたします。

診療統計 平成25年4月～9月(月平均)

- 外来延べ患者数 32,364名(5,394名)
- 入院延べ患者数 31,259名(5,210名)
- 一日平均外来患者数 216名

- 救急搬入数 839名(140名)
- 紹介患者数 995名(166名)
- 手術件数 794件(132件)
- 内視鏡件数 659件(110件)